

— 住学協同への実験 —

筑豊ゼミ研究会報 12月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 50 号 2017 年 12 月 10 日

12 月例会は 12 月 20 日(水)午後 7 時～9 時

○市民遺産研究会 近畿大学産業理工学部 4 号館 1 階ピロティ

- ・研修旅行の企画
- ・今年度の活動について

○古代のロマンに酔う研究会

12 月 日()15時から 穂波公民館

○飯塚(中心市街地)このままで委員会

12月22日(金)19時15分 市民交流プラザ(あいタウン2F)

1. つなぐカフェについて
2. その他フリートーク

○住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会

12月20日(水)19時00分 場所:真次郎(飯塚市新飯塚 14-2 遠賀ビル 1F/0948-28-2055)

- ・今後の取り組みについて

○つかこうへいと筑豊研究会

k 12月17日(偶数月の第3日曜日) 13時30分～15時30分

場所:善照寺(嘉麻市上西郷 590 番地)電話(0948-57-0646)

- ・来年 4 月つかこうへいの生誕 70 周年の取り組みについて

○情報発信/データデザイン研究会(3 号館 3 階 3304-B:情報工房):

○学生ビジネス研究会

コーヒープロジェクト:

12 月は試飲販売を実際に行い、先生方や生徒の反応はどのようなものかをチェックし、反省や改善をし、これからにつなげていけるような活動をしたいと考えております。

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会

会長 白神 精一

素晴らしい好天に恵まれた11月21日(火)、私たちはボランティアガイドの瓜生さんの案内のもと、かつて「筑豊富土」と呼ばれた忠隈炭鉱のボタ山登頂に挑みました。

ほとんど人が通ることのない山道には、野イチゴやアケビが自生していた。枯れ葉に足を滑らしながら登ること30分、思ったより狭い頂上だったが、そこからの眺望は予想以上に素晴らしいものだった。

遠く東には英彦の峰を仰ぎ、時計回りに馬見、屏、古処の「嘉穂アルプス」、ふもとには琴平山や長谷山、すぐ目の前には大将陣が見え、その右奥には大根地に続き三郡山、西の空には竜王山が聳え、笠置山も見えた。北に目をやれば福知山の稜線、目の前には関の山が鎮座していた。どこを見ても山また山、まさに筑豊盆地を実感できる360度の大パノラマだった。

登頂の思い出に瓜生さんに頂いた一片には、次のように書かれていた。

ボタ山よ、汝人生のごとし

盛んなる時は肥え太り ヤマ止んで日々やせ細り

或いは姿を消すもあり あゝ哀れ悲しき限りなり

山本作兵衛

近代日本の経済発展に大きく貢献した石炭産業。石炭の採掘がなされなければ永遠に日の目を見る事が無かったであろう捨て石(ボタ)。その捨て石の集積であるボタ山。

私達は心地よい疲労に満足感を覚え、繁栄の陰で産業遺産となってしまったボタ山に惜別の意を込め、更にはボタ山登りの記念として数個の”ボタ”を持ち帰った。(山下記)

<ボタ山豆知識>

資源として使えず廃棄された捨て石。この捨て石は俗称でズリという。九州の炭坑ではこのズリはボタと呼ばれ、ズリ山はボタ山、漢字では硬山と書く。大牟田では有明海の埋め立てに利用されたためボタ山はない。なお、ドイツの世界遺産「エッセンのツォルフェアイン炭鉱業遺産群」では、ボタは坑道の充填(埋戻し)に利用されボタ山はないが、フランスの世界遺産「ノール＝パド＝カレーの炭田地帯」では、多数のボタ山が残され、観光資源として多くの観光客が登っている。

古代のロマンに酔う研究会

～遠賀川上流古代祭～ヒミコを捜そう～

会長 藤江 文雄

飯塚（中心市街地）このままで委員会

～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長 縄田 真照

2017年11月28日(火) 19時15分 市民交流プラザ

出席者7名

1. 「飯塚つなごうPROJECT」第一弾報告会について

11月13日(月)15時 飯塚市役所2F多目的ホール

当日は新聞社の取材もあり、記事にしてもらった。近大建築学科の学生3グループによるプレゼンを行う(資料参照)。

○新飯塚駅にはデッキを設けて、高い所から商店街を眺められるように。真っ直ぐな商店街通りをくねらせて一方通行にする。

○駅から河川敷までの模型を市役所2Fに今月末から展示する予定。

○当日は新飯塚商店街の人達も興味を示していた。新年会でのプレゼン依頼を受けている。今回の提案が、新飯塚の活性化につながるきっかけになればいい。

○年明けになるのを待つのではなく、今から行動を起こしてはどうか。社会実験で、一日のみ商店街通りの一方通行化をして、歩道を広くとる。そこにベンチなどを設置。

○新飯塚アーケードの撤去は、約5年前に中活事業で行ったので、10年間は扱えない。あと5年考える時間がある。「勝手に提案委員会」に新飯塚商店主達に参加してもらってもいいし、別の勉強会を立ち上げてもいい。次回は別の提案をするのではなく、今回の提案を形にする勉強会を優先すべき。

2. つなぐカフェについて

○12月の設立準備委員会で、カフェの全容が明らかになる予定。カフェをすることで、学生、大学、企業などにどんなメリットがあるかを考えている。来年1月にシンポジウムを開催して提案する。

○4月に新入生対象で、市役所にてアルバイトマッチングイベントを考えている。様々な業種の企業に参加してもらいたい。やってみていい所はカフェに取り組んで、ダメな所は原因を探っていく。カフェは来年9月中旬にオープン予定。

○ロータリークラブの記念事業の中で、つなぐカフェの支援も入っている。

○商店街の中でのコンビニの件は、既存店舗の中にコンビニ形態のコーナーがあってもいい。数店舗の中にコンビニコーナーを作ってはどうか。比較的遅くまで開けている店に依頼しては。本町のチクコレが取り組みやすいのではないかと。商店街で行うことになれば、近大経営ビジネス学科の先生と勉強会をしてもいい。学校の購買部のように玉置から商品を委託仕入れできないか。

○近代学生による賃貸物件のプロデュースも進めていきたい。

住み続けたいまち・住んでみたいまち～

勝手に提案研究会

会長 六谷 拓也

11月13日(月)15:00～ 飯塚市役所 1階多目的ホール

近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科 小池ゼミと一緒に取り組んできた「飯塚つなごうPROJECT」第1弾(新飯塚駅～遠賀川)の報告会を公開形式で行いました。

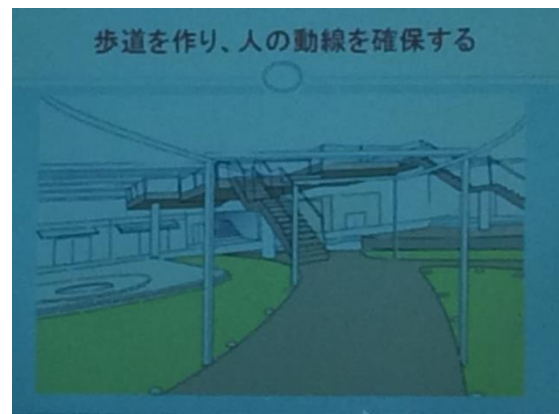


まちあるき、ぶらり市展示、筑豊ゼミでの意見交換を通じて建築学生が考えるこれからの「飯塚」をプレゼンテーションしてくれました。

今回は3グループに分かれて新飯塚駅、新飯塚商店街、遠賀川の3カ所についてプレゼンを行いました。

それぞれのアイデアは連続性を持っていてトータルの「建築」で人々を繋ぐことができる提案となっています。

提案 1. 新飯塚駅



時を超えて愛される新飯塚駅

橋上駅なのに新飯塚の町を見通すことができない閉鎖的な構造と駅正面からまっすぐに繋がっている新飯塚商店街との配置が生かされておらず商店街への誘発性の低さ、西鉄バス停からの歩行者動線の悪さと有効活用されていない駅前空間を新飯塚商店街、遠賀川一望する2階レベルのテラスデッキを設置することで歩行者の動線の問題もあわせて解消する提案です。



提案 2. 新飯塚商店街



「日常的に利用したい」と思わせる「空間」、「通ってみたい」と思わせる「つかみ」

車道の蛇行化と一方通行化を行い、車のスピードの軽減と歩道空間の拡大によりテラスや植栽等のスペースを生み出し車道と歩道のより良い空間を作り出します。

フレーム構想

商店街の交差点ごとに額縁のような電柱や信号機、外灯の機能を持たせたフレームを設ける。機能を集約することによりスッキリとした景観を作り出します。

利用してもらうために

ぶらり市での市民の方々の意見をもとに、駅前広場の提案を始めとした既存空き店舗を活用したりノベーションを行いまちの魅力をアップする提案です。

提案 3. 遠賀川



繋がるフレーム

新飯塚商店街から続くフレームを川(芳雄橋)にも続けることにより視覚的につなぎ駅から川へ人々を遠賀川へつなぎます。

賑やかな空間

商店街側から伸びる視線と芳雄橋からの視線が集まる中州を中心にステージを計画し、その周囲の土手にレベル差のある広場や木の構造物を提案し、賑やかな空間を演出します。

これから取り組んでいきたいこと

今回の建築学生からの提案が、新たな視点で飯塚のまちをみんなで考えてみるきっかけとなり、飯塚が本当の意味での学園都市になれるよう、この取り組みに地域をまきこんで継続的に続けていきたいと考えています。

つかこうへいと筑豊研究会

会長 池田 静子

来年4月はつかこうへい氏の生誕70周年です。会としては、生誕70周年に向けての取り組みでいます。12月の定例会を以下のように行いますので、ご参加いただき、ご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

〈定例会のお知らせ〉

日時:12月17日(偶数月の第3日曜日) 13時30分~15時30分

場所:善照寺(嘉麻市上西郷590番地) 電話(0948-57-0646)

テーマ:来年4月つかこうへいの生誕70周年の取り組みについて

- ① 現在、4月に田川市立美術館にて「つかこうへい展」を予定
展示物(ポスター、パンフレット、チラシ、山田高校の学生新聞など)、
ピクニック、大分市つかこうへい劇団などの資料提供をお願い
- ② 田川市、嘉麻市、飯塚市、桂川町など筑豊の各図書館には「つかこうへいコーナー」の設置のお願い。今年の8回忌(10月)命日の前後の期間に、各図書館で展示コーナーを設置していただいた。4月もつかこうへい氏のコーナーを予定。
- ③ 映画の上映や演劇の公演など検討中(資金難が問題あり)。
- ④ つか氏の学友や幼友達などを巡り、嘉麻市、飯塚市、桂川など、筑豊での足跡をたどり、ドキュメントを作成中。
- ⑤ その他

学生ビジネス研究会

会長 安藤 旭信

コーヒープロジェクト:

11月は話し合いを先生とメンバーで行い、12月に近畿大学福岡キャンパスで試飲販売を行うという計画を立てました。

それに向けてのチラシ作りや、価格決定、注文票の作成を11月は行いました。

また話し合いの中で売り上げの使い道についての話があり、話し合いの結果売り上げの額にもよりますが、何割かは学校への恩返しとして寄付(留学生の奨学金、留学生を迎える時の活動費)しようという話になりました。

12月は試飲販売を実際に行い、先生方や生徒の反応はどのようなものをチェックし、反省や改善をし、これからにつなげていけるような活動をしたいと考えております。

情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

：sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

筑豊ゼミホームページ(<http://www.chikuzemi.com/>)のイベントカレンダーもご覧ください

「舞鶴への生還と山本作兵衛コレクション」

～近現代日本の世界記憶遺産展～

～12月24日(木)まで 9:30～17:30 休館日毎月曜日

場 所 田川市石炭・歴史博物館 TEL 0947-44-5745

料金は大人400円／高校生100円／小中学生50円(20名以上は団体割引あり)

先の大戦での抑留生活や苦難に満ちた引揚者の歴史を伝える「舞鶴への生還」(京都府舞鶴市)。その激動の近代をつぶさに描き残した「山本作兵衛コレクション」。その2つの記憶が、現代日本の礎となった近現代の歩みを今、田川の地で伝える。

<http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kiji0035105/index.html>

道の駅おおとう桜街道イルミネーション

～2018年1月31日(水)まで 17:30～22:30 場 所 道の駅おおとう桜街道

今年の電飾数は60万球:今年のテーマは「お城と水族館」。メインイルミはお城の中のダンスホールをイメージした装飾が施されます。また、周辺スロープ入口には願いを込めて鳴らす「しあわせの鐘」を設置する他、子供に人気のキャラクターゾーン、魚形のイルミが輝く水族館をイメージしたゾーンなど、多彩なテーマのイルミが楽しめます。通路の最後には光のホワイトカーテンがきらめき、来場者の気分を盛り上げてくれます。

<https://illumi.walkerplus.com/detail/ar1040e169325/>

鮭神社 献鮭祭

12月13日(水)11:00～ 場 所 嘉麻市大隈 鮭神社境内

今年も遠賀川流域を遡上してきた鮭を奉納します。

<http://www.e-kama.net/event/%E7%8C%AE%E9%AE%AD%E7%A5%AD/>

○12月2日、地元住民の方が、遠賀川水系西川に流入する農業用水路にて、鮭を発見いたしました(2年ぶり)。この鮭は、献鮭祭に奉納する予定です。

http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/press_files/H29_12.04_sakehakken.pdf

12月講座 リアルかわすじ今日談

演題 「没後30年 上野英信と筑豊」

12月14日(木)18:30~20:00 場所:麻生西日本 TNC 文化サークル

受講料:2,000円

記録作家の上野英信は、広島原爆の惨状を目の当たりにし、戦後、世の中から逃れるように炭坑の地底にもぐった。朝鮮戦争後に訪れたエネルギー革命。小ヤマの採炭現場は、この世とは思えぬ労働実態に変貌した。代表作「追われゆく坑夫たち」や「地の底の笑い声」など、ヤマの実像を記録文学に刻んできた上野英信。新聞記者の新人時代に上野英信を間近に見た講師が「上野文学」の魅力に迫る。

今回は、このような文学から見えてくる筑豊を中心に、西村総局長の思いや考えなどと、炭坑全盛期から現在の筑豊を見つめなおします。又、参加者と一緒に掘り下げて今後の筑豊づくりに討論を予定しています。

麻生西日本 TNC 文化サークル

12月 地域づくりセミナー

2015年の社会保障危機

12月21日(木)18:00~ 場所:飯塚市市民交流プラザ(アイタウン2F)

講師:西村隆幸 西日本新聞筑豊総局長

段階の世代が80歳代となる2015年、まさに社会保障の危機を迎えます。

主催: NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター

川面に映るイルミネーションの祭典

12月23日(土)~25日(月)17:30~22:00 23日(土)の17時00分から点灯式

場所 彦山川ばんだごうら河川敷(川渡神幸祭の会場)

今年も昨年同様、彦山川を愛するボランティア団体主催で、河川美化の啓発の為に、河川敷うどん等の無料接待(数に限りありますので無くなれば終了します)

主催:イルミネーション実行委員会 協催:(株)みずおか、中村基礎工業(株)、田川市、田川広域観光協会、田川商工会議所、国土交通省遠賀川工事事務所

<https://www.welcome-fukuoka.or.jp/member/2508.html>

おおとう道の駅クリスマスコンサート

12月24日(日)11:30～ 場所 道の駅おおとう桜街道もみじ館(大任町大字今任原 1339)

聖なるクリスマスを素敵な音楽を聴いて過ごしませんか？夜はイルミネーションをお楽しみください。

<http://www.crossroadfukuoka.jp/event/?mode=detail&id=400000009472>

飯塚商店街 12月のイベント情報

●コスモスタンプ大抽選会 12月9日(土)13時 東町三叉路広場

満点カード1枚(台紙1冊)で1回抽選ができます。お一人様2枚(冊)までで、先着120枚(冊)まで。空じなし。2万円、1万円、5千円などの商品券が当たります。300円分のカード(台紙)が最低でも500円の商品券に！年に一度のこの機会をお見逃しなく！

●百縁市 12月15日(金)10時～17時 飯塚商店街

参加店約80店舗の店頭で100円商品や格安商品がずらりと並びます。人気商品は午前中になくなりますので、お早目にお越し下さい。

13時から100円玉で参加できる抽選会があります。最低でも100円チケットが当たり、千円や二千円の商品券が当たります。詳しくはチラシをご覧ください。

●本町カウントダウン 12月31日(日)23時45分 本町からくり時計下

年明けをみんなでカウントダウンして祝いましょう。餅まきやぜんざいの無料サービスもあります。本町鼓楽塾による和太鼓の演奏もお楽しみに！

●ほんまち初売り商品券販売

1月3日(水)・4日(木)11時 飯塚井筒屋サロン前

本町商店街の加盟店で使える商品券が、1万円で1万2千円分買えます。お一人様5万円まで。売り切れ必至の恒例の商品券販売です。お早目にお越し下さい。

発行：NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第30期筑豊ゼミ

責任者：第30期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者：第30期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第29期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail：chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)